

2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 千ノ一
(東証1部 : 6850)

1.2022年3月期 第3四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 海外売上高（地域別）

2.株主還元

3.トピックス

4.通期業績予想

1.2022年3月期 第3四半期決算

1) 決算ハイライト

2022年3月期 第3四半期 連結業績

受注高



18,543百万円

前年同期比 24.3%増



売上高



14,658百万円

前年同期比 3.4%増



自動車・電子部品分野等で、生産活動の回復が進み、設備投資も回復基調を維持したことにより増収

<利益面>

営業利益



749百万円

前年同期比 211.6%増



経常利益



922百万円

前年同期比 186.3%増



四半期純利益 (親会社株主に帰属)



476百万円

前年同期比 26.2%減



- ・ 営業利益・経常利益 : 売上高増加や原価率の低減等により増益
- ・ 四半期純利益 : 前年同期に明陽電機(株)の連結子会社化に伴う特別利益(負ののれん発生益557百万円)を計上したことによる反動減により減益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	前期増減	前期増減比
受注高	14,923	18,543	3,620	24.3%

	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	前期増減	前期増減比
売上高	14,177	14,658	481	3.4%
売上総利益 <利益率>	4,054 (28.6%)	4,710 (32.1%)	655 (3.5p)	16.2%
営業利益 <利益率>	240 (1.7%)	749 (5.1%)	508 (3.4p)	211.6%
経常利益 <利益率>	322 (2.3%)	922 (6.3%)	600 (4.0p)	186.3%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	645 (4.6%)	476 (3.3%)	▲ 169 (▲1.3p)	▲26.2%

2) 業績サマリー (2)

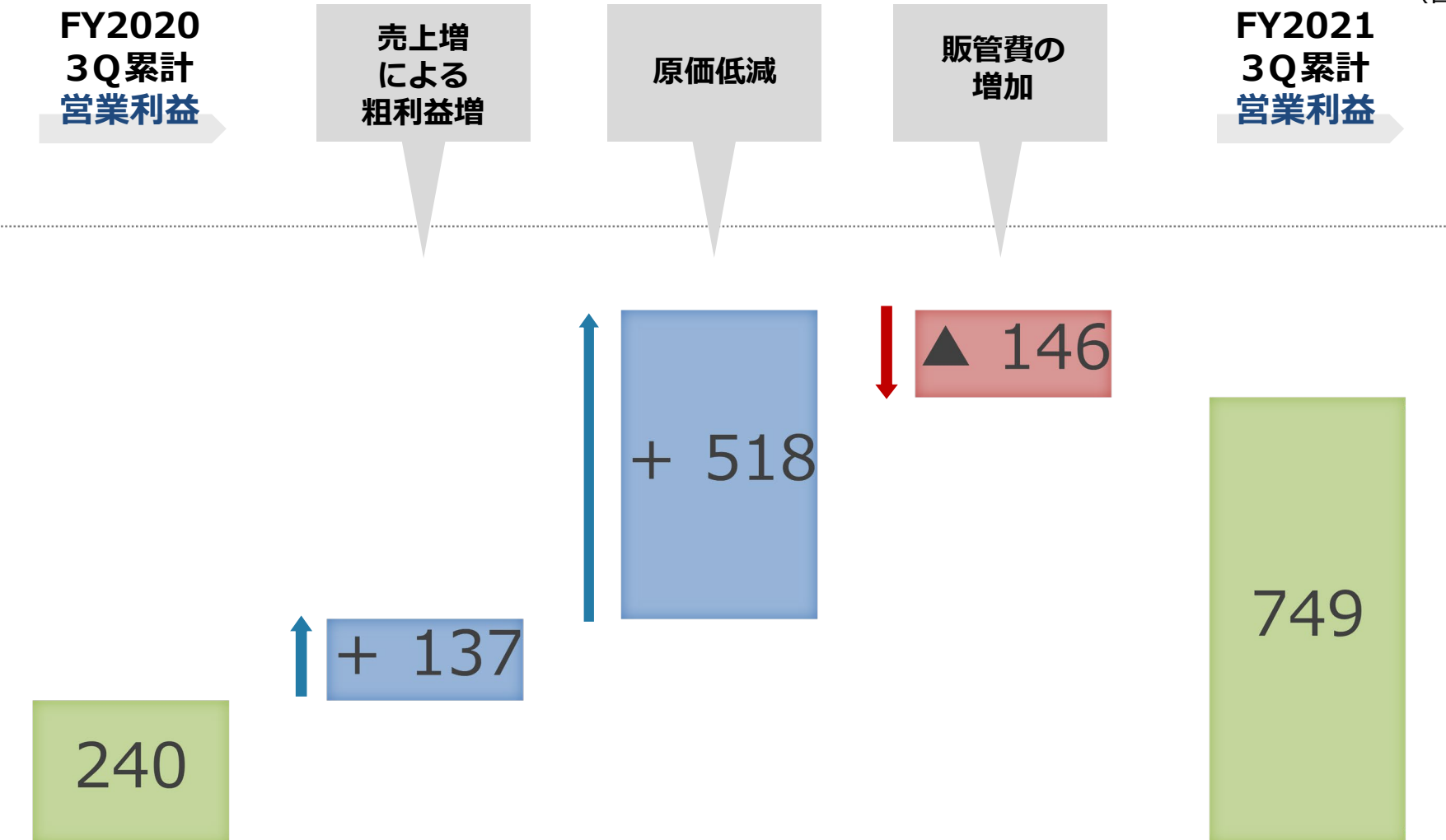
◇セグメント別業績

(百万円)

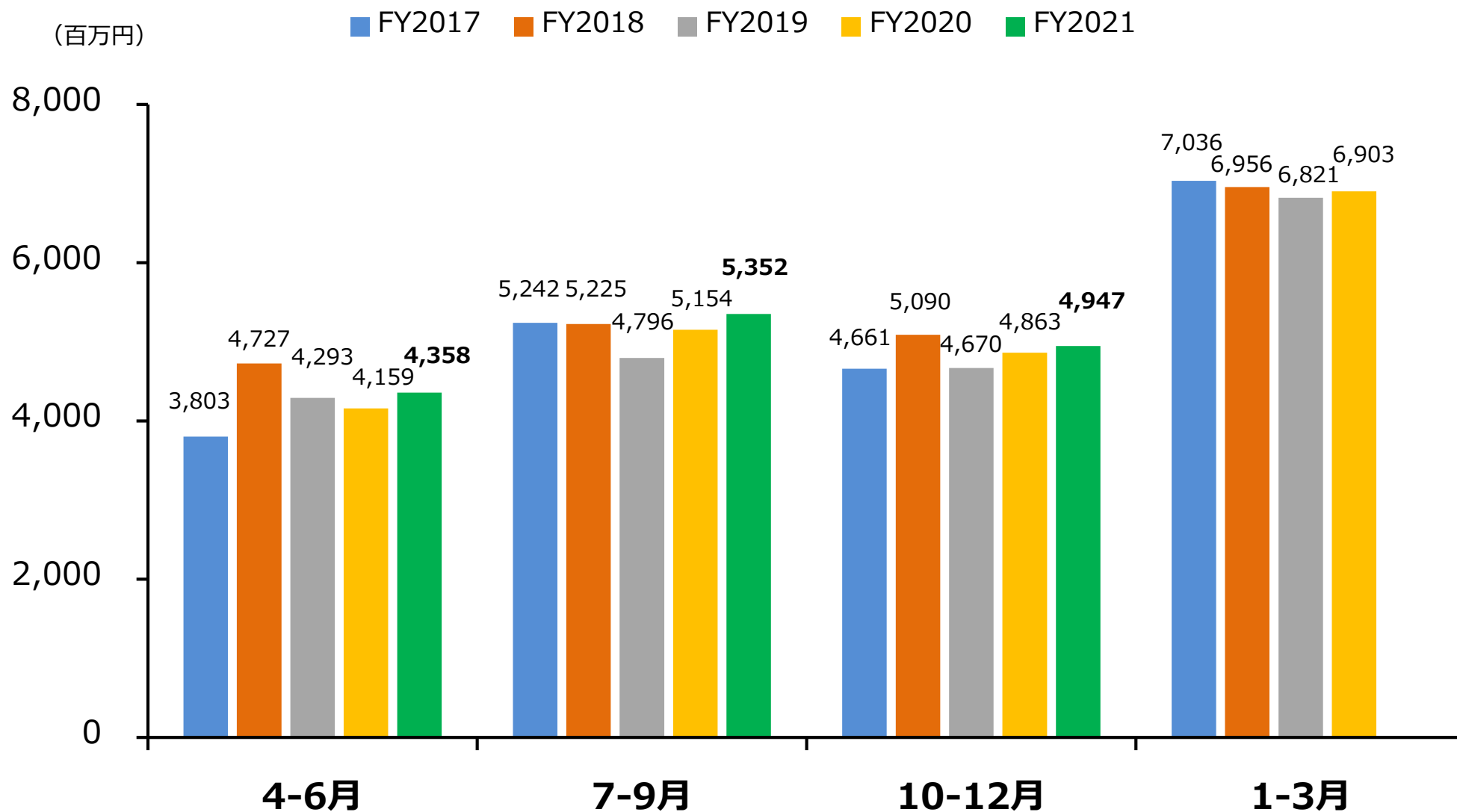
	受注高				売上高				セグメント利益			
	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	増減	増減比 (%)	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	増減	増減比 (%)	FY2020 3Q累計	FY2021 3Q累計	増減	増減比 (%)
計測制御機器	4,747	6,077	1,330	28.0	4,857	5,644	786	16.2	581	655	74	12.8
計装システム	4,816	6,871	2,054	42.7	4,048	3,617	▲ 430	▲ 10.6	108	219	110	102.2
センサ	4,862	5,116	253	5.2	4,663	4,819	155	3.3	574	937	363	63.3
その他	497	479	▲ 18	▲ 3.7	607	577	▲ 30	▲ 5.0	155	102	▲ 52	▲ 33.9
全社費用									▲ 1,179	▲ 1,166	12	—
合計	14,923	18,543	3,620	24.3	14,177	14,658	481	3.4	240	749	508	211.6

3) 営業利益増減分析

(百万円)



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

5,644百万円 前年同期比 16.2%増



セグメント利益

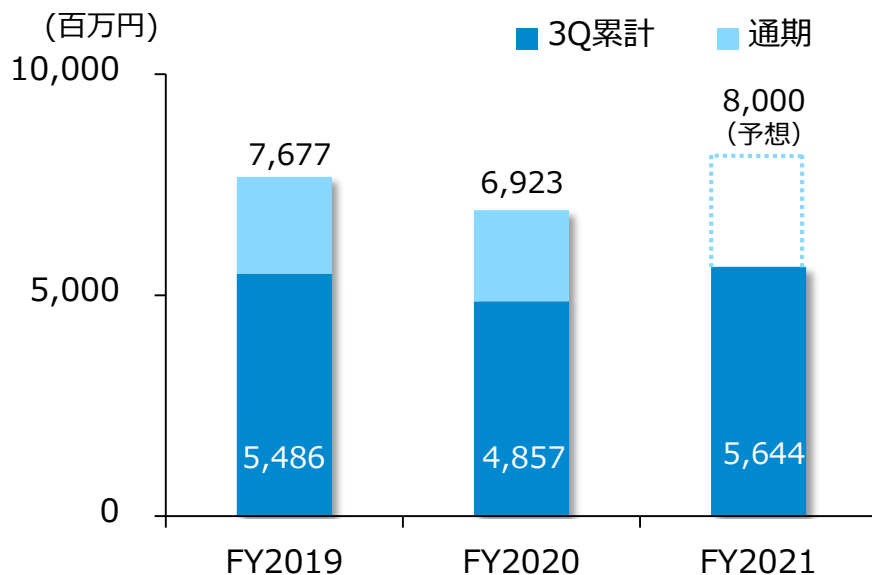
655百万円 前年同期比 12.8%増



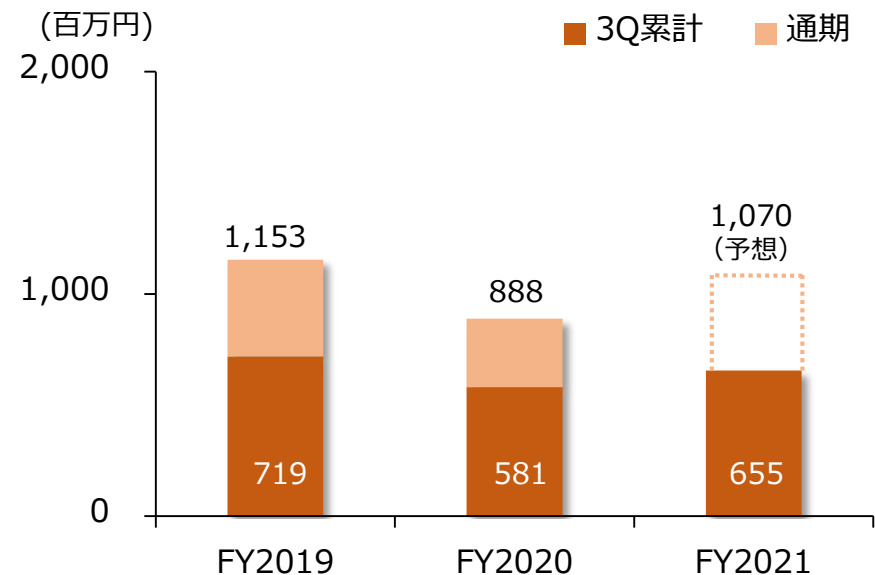
製品別状況

- 海外向け（特に中国を中心としたアジア地域）記録計の需要が伸長
- 調節計とサイリスタレギュレータは、大口顧客の売上が順調に推移

<売上高>

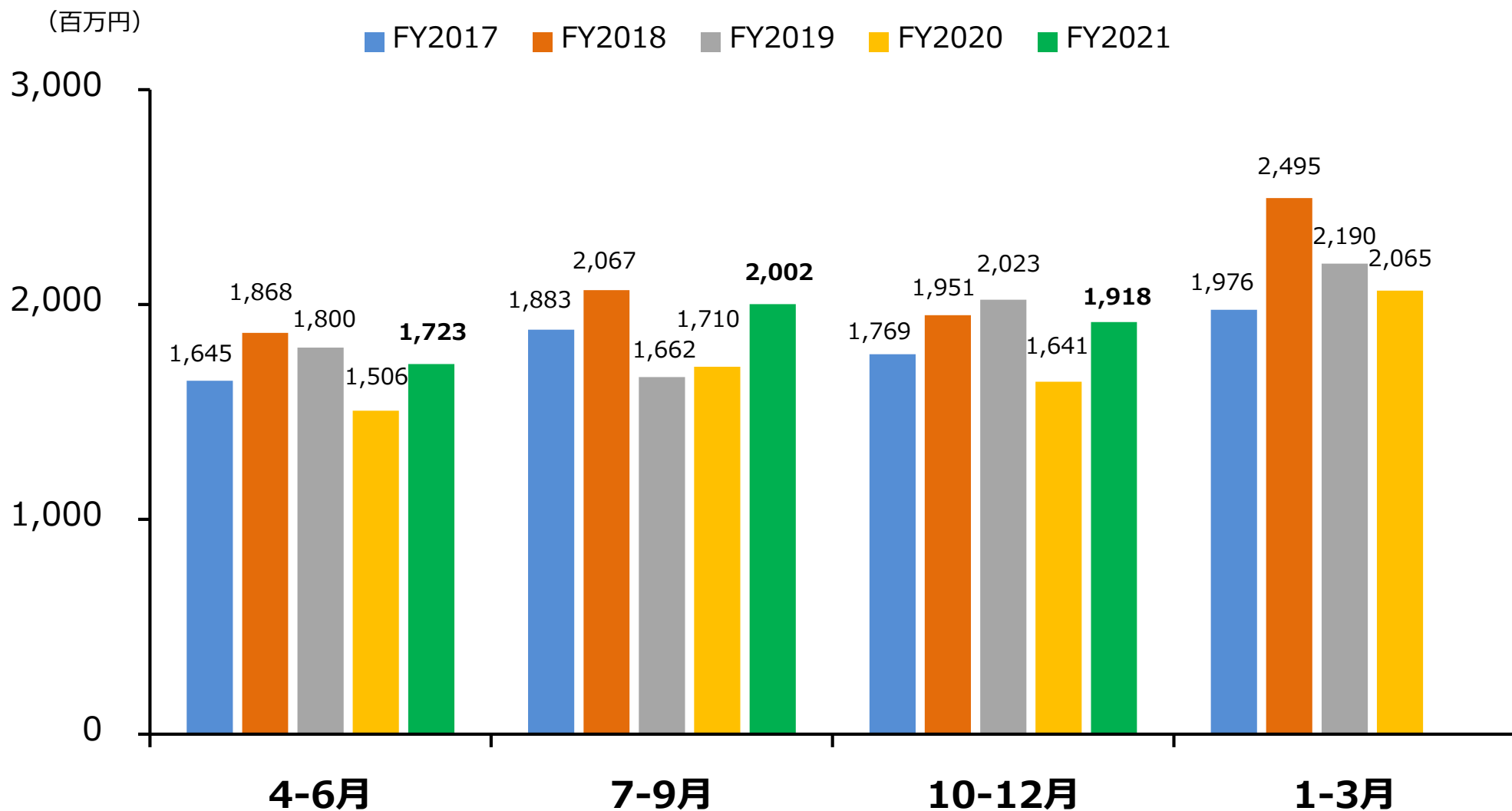


<セグメント利益>



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高

3,617百万円

前年同期比

10.6%減



セグメント利益

219百万円

前年同期比

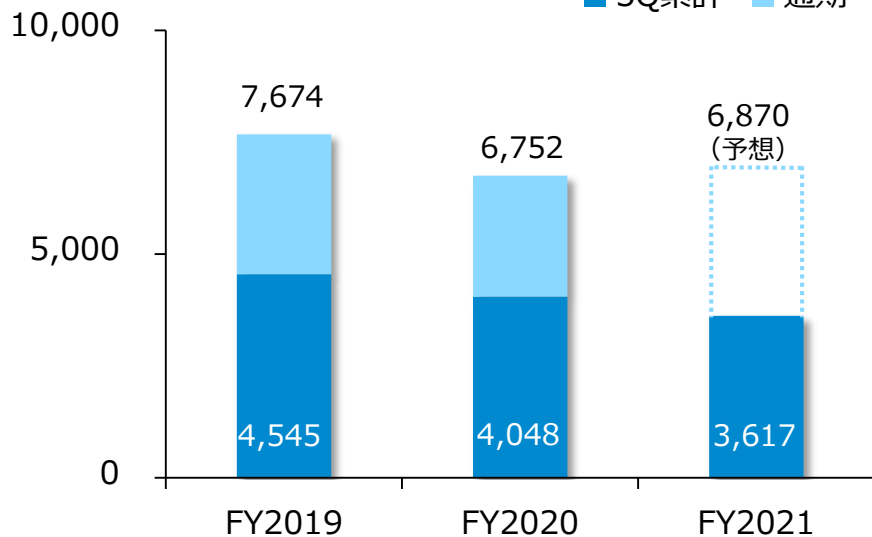
102.2%増



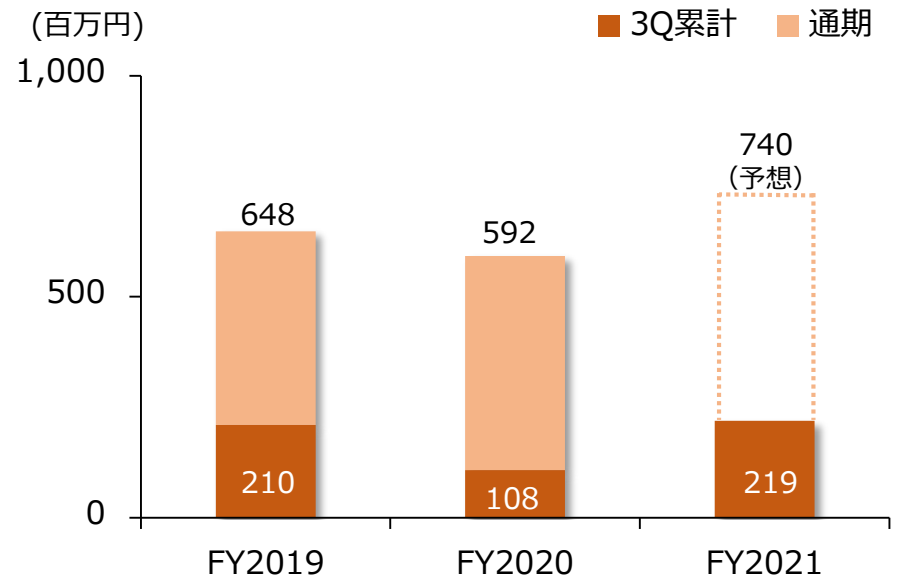
製品別状況

- 電子部品関連の製造装置向け売上は順調だが、コンポジット評価試験装置は主要顧客の設備投資が低迷したため厳しい状況となり、セグメント全体では減収
- 脱炭素関連として、自動車関連向けの燃料電池評価試験装置や水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大

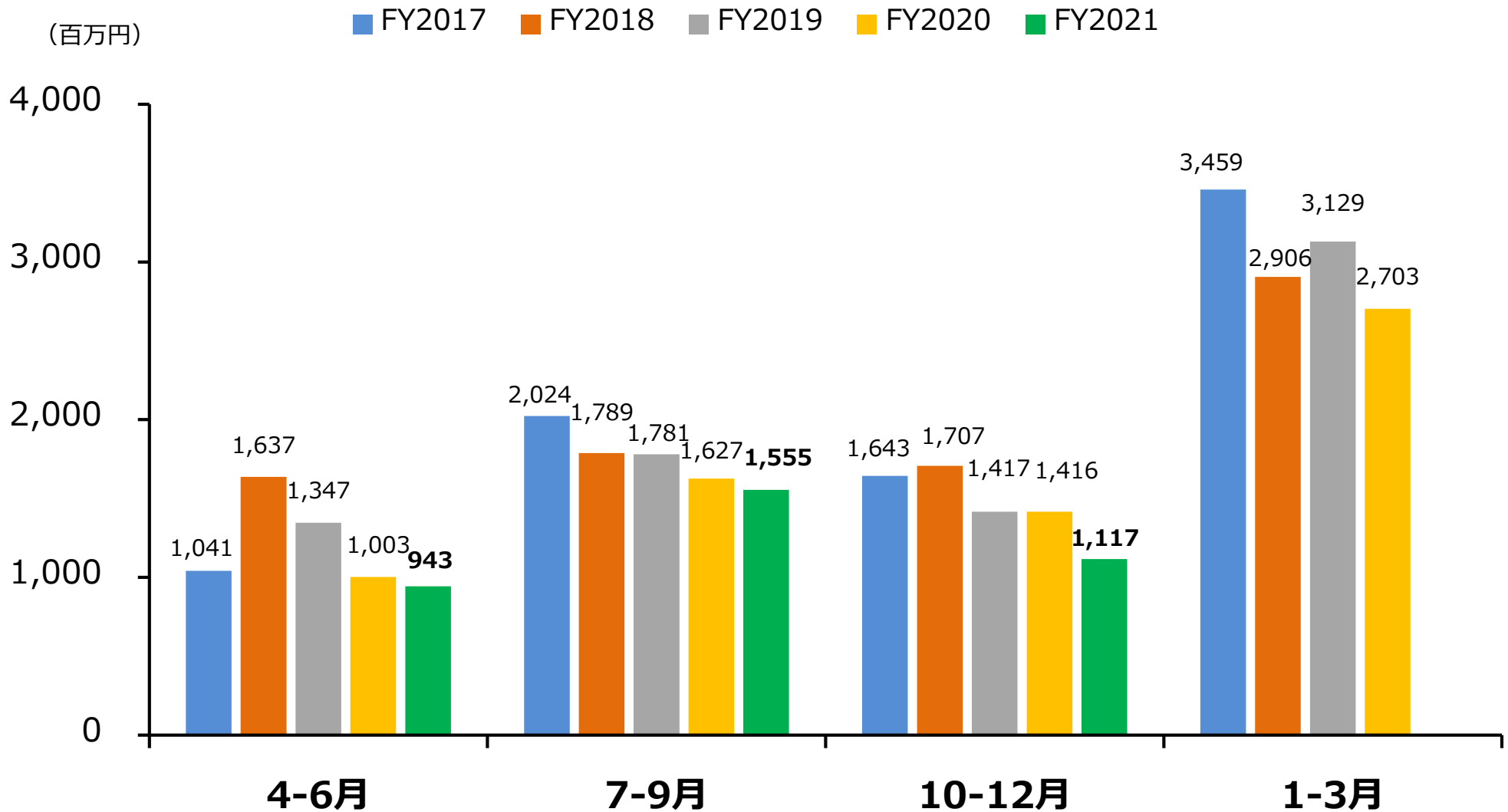
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高

4,819百万円 前年同期比 3.3%増



セグメント利益

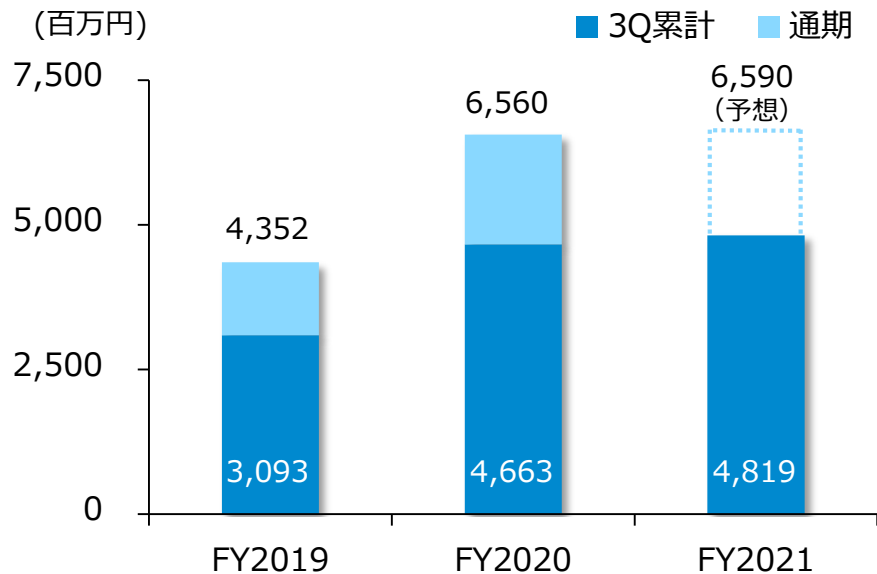
937百万円 前年同期比 63.3%増



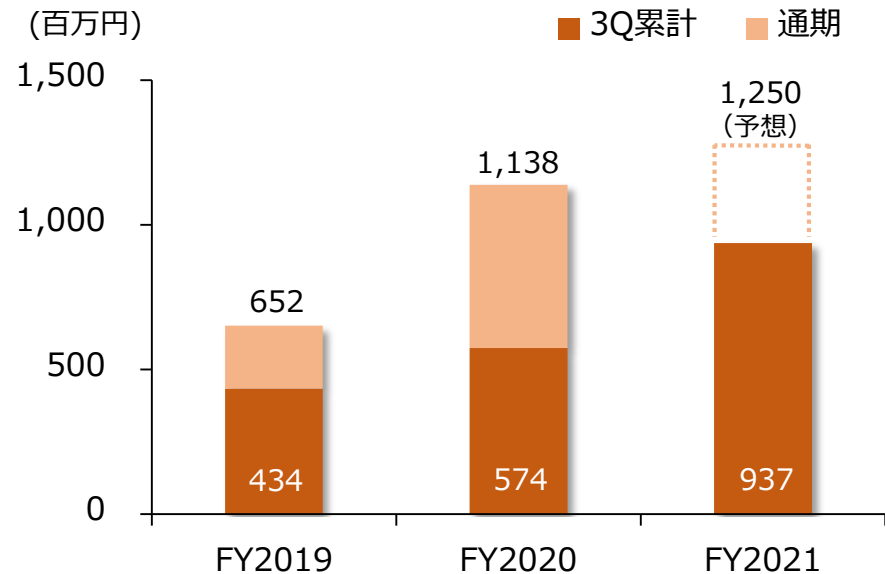
製品別状況

- 放射温度計：半導体関連の製造装置向けの需要、鉄鋼関連の設備更新が堅調
- 温度センサ：半導体関連の製造装置向けおよびバイオマス等安全監視の需要が堅調

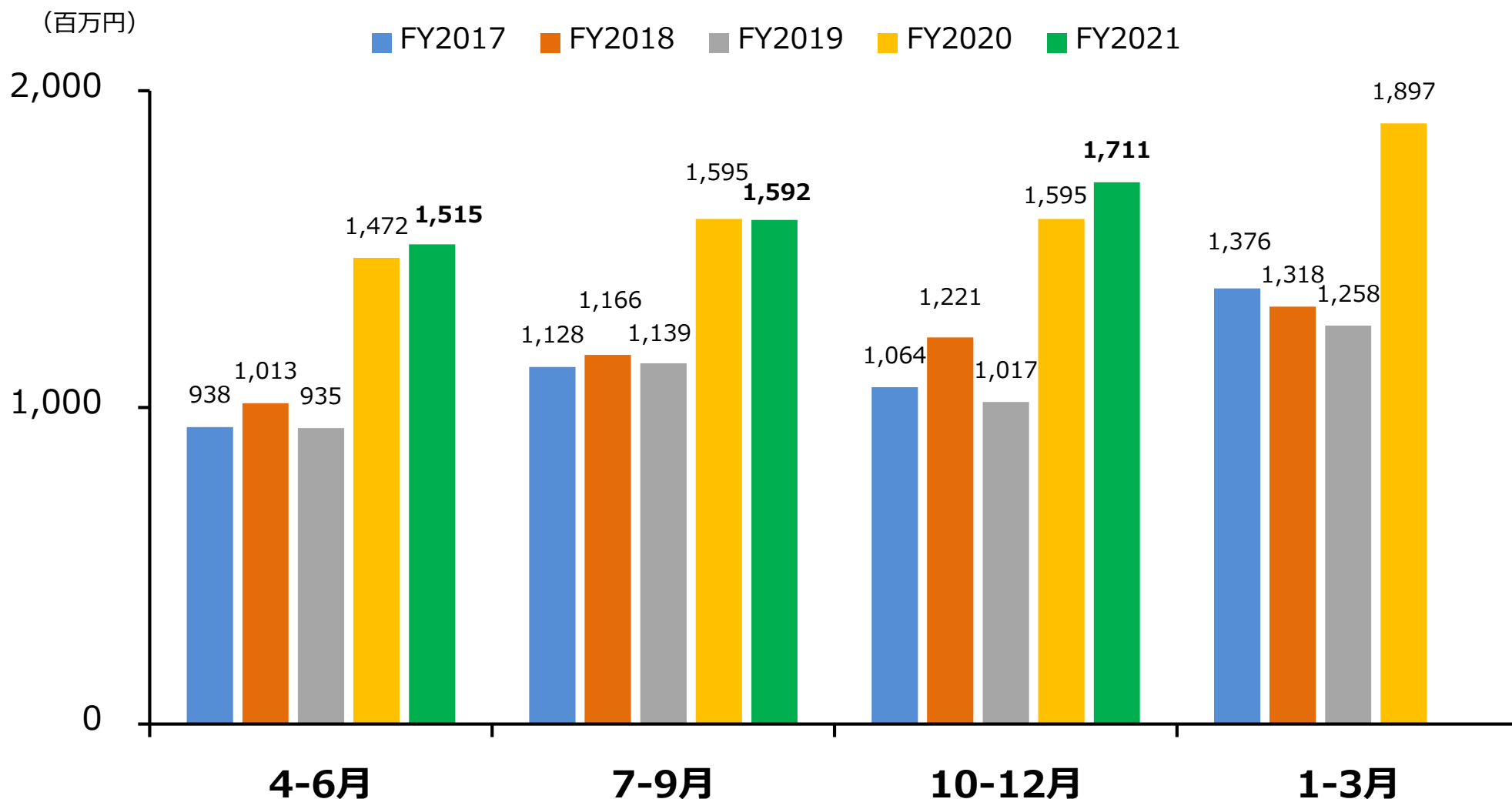
<売上高>



<セグメント利益>



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 売上債権は減少したが、現預金・棚卸資産の増加等により前期末比55百万円の増加
- 負債 仕入債務の増加等により流動負債は増加したが、固定負債の減少により、前期末比238百万円の減少
- 純資産 四半期純利益の計上等により前期末比294百万円の増加

(百万円)

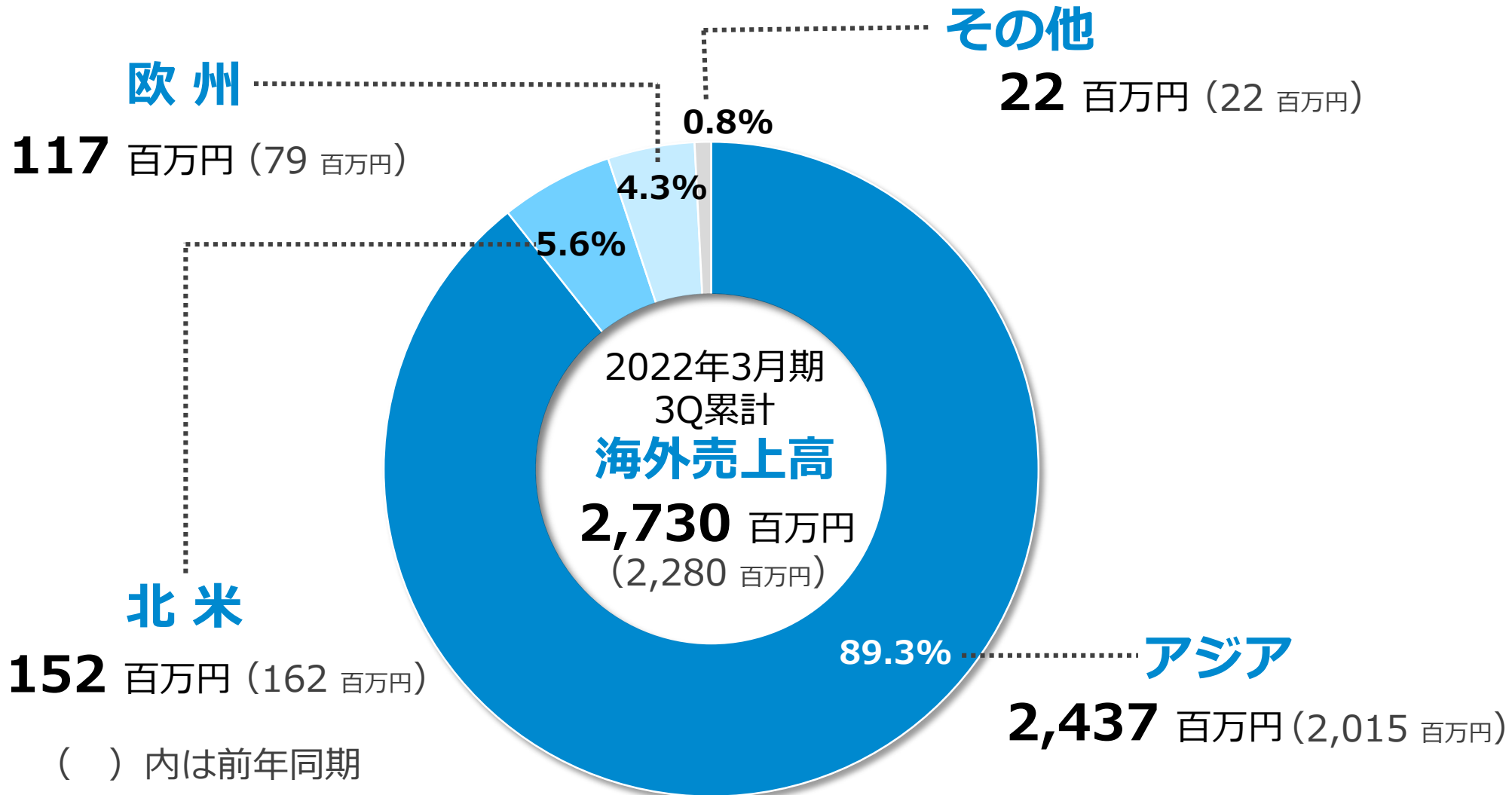
科目	2021年3月末	2021年12月末	増減
流動資産	20,299	20,516	217
現預金	6,991	7,228	236
売上債権	7,548	6,147	▲ 1,400
棚卸資産	5,526	6,812	1,285
その他	231	327	95
固定資産	10,099	9,938	▲ 161
有形固定資産	5,578	5,546	▲ 32
無形固定資産	398	411	13
投資その他の資産	4,122	3,980	▲ 142
資産合計	30,398	30,454	55

科目	2021年3月末	2021年12月末	増減
流動負債	7,274	7,399	124
仕入債務	3,611	4,288	677
短期借入金	1,594	1,591	▲ 3
その他	2,069	1,519	▲ 549
固定負債	3,621	3,258	▲ 363
長期借入金	995	718	▲ 276
その他	2,626	2,539	▲ 86
純資産	19,502	19,796	294
株主資本	16,398	16,487	89
その他の包括利益累計額	240	338	97
非支配株主持分	2,863	2,970	107
負債純資産合計	30,398	30,454	55

自己資本比率：2021年12月末 55.3%、2021年3月末 54.7%

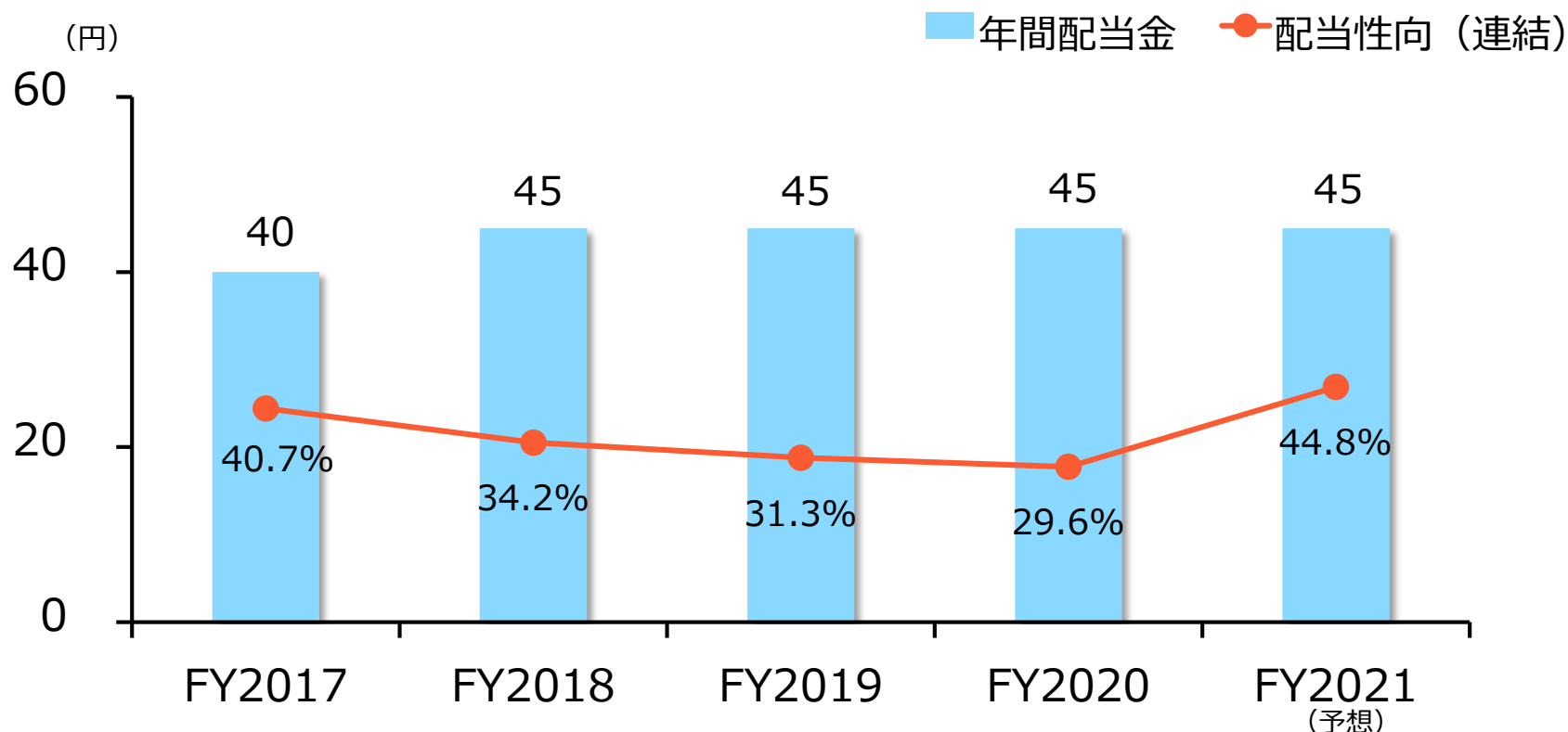
7) 海外売上高（地域別）

- 海外売上高は中国を中心としたアジア地域で増収



2. 株主還元

- FY2021の1株当たり年間配当金（予想）は45円としております。
- 2016年12月から2017年5月にかけて自社株買いを120百万円実施しました。
（2017年7月に自己株式の消却を300,000株実施）
- 安定配当を継続しつつ、内部留保資金を研究開発活動や新技術・新商品開発投資及び新規事業等、将来の企業価値を高めるための投資資金として有効活用することにより、1株当たり利益とROEの向上に努めてまいります。



3. トピックス

株主優待制度（チノー・プレミアム優待倶楽部）の導入について①

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を一層向上させ、中長期的に保有していただける株主様を増やすため株主優待制度の導入を決定しました。

【制度の概要】

- 2022年3月末現在（以降、毎年3月末現在）の3単元（300株）以上保有の株主様が対象となります。
- 株主様の保有株式数に応じてポイントが贈呈され（次ページ参照）、ウェブサイト「チノー・プレミアム優待倶楽部」において、食品、電化製品等4,000種類以上の商品から交換できます。

リンク先：<https://chino.premium-yutaiclub.jp/pre/>

株主優待制度（チノー・プレミアム優待倶楽部）の導入について②

＜株主優待ポイント表（1ポイント≒1円）＞

保有株式数	付与されるポイント	贈呈時期
300株～399株	4,000ポイント	毎年5月
400株～499株	8,000ポイント	
500株～599株	15,000ポイント	
600株～699株	20,000ポイント	
700株～999株	25,000ポイント	
1,000株～1,999株	30,000ポイント	
2,000株～4,999株	35,000ポイント	
5,000株以上	40,000ポイント	

東証新市場区分の選択について

当社は、東証新市場区分の見直しに関し、2021年12月9日にプライム市場の選択を申請し、その上場維持基準（流通株式時価総額・売買代金）充足に向けた取組みについて、(株)東京証券取引所へ「プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し開示しました。

リンク先：<https://www.chino.co.jp/wp/wp-content/uploads/211209b.pdf>

▶▶ YouTube「徹底解剖!ミンカブ企業チェック」に当社が取り上げられました

株式投資の総合サイト「みんなかぶ」を運営する株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが配信するYouTube動画「徹底解剖!ミンカブ企業チェック」にて、当社が取り上げられました。企業概要や成長戦略が分かりやすくまとめられており、数分で弊社を理解いただける内容となっています。

【YouTube ミンカブ・ジ・インフォノイド チャンネル】

https://www.youtube.com/watch?v=qvYfKIBd_G8

【みんなかぶ】

(PC) <https://minkabu.jp/stock/6850>

(スマートフォン) <https://s.minkabu.jp/stock/6850>

【Kabutan (株探)】

<https://kabutan.jp/stock/news?code=6850&b=n202112240976>

▶▶ 株式会社フィスコより当社の企業調査レポートが発行されました

2021年12月28日付けで、株式会社フィスコより当社の企業調査レポートが発行されました。

【企業調査レポート】 <https://www.fisco.co.jp/uploads/chino20211228.pdf>

4.通期業績予想

通期業績予想（2021年11月10日発表から変更なし）

- 売上高223億円（前期比5.8%）、営業利益13億円（同14.4%）を予想。
- 先行きの不透明感（世界的な半導体供給不足・原材料費の高騰等）は依然として継続していますが、第4四半期は脱炭素に関わる研究開発やIoT化を目指す操業現場の設備投資等を中心に業績の確保に注力してまいります。

（百万円）

	FY2021 業績予想 (2021年11月10日発表)	FY2020 実績	差異	増減比 (%)
売上高	22,300	21,080	1,220	5.8
営業利益	1,300	1,136	164	14.4
経常利益	1,400	1,283	117	9.0
当期純利益 (親会社株主に帰属)	850	1,289	▲439	▲34.1

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO